

アジア・アフリカ地域研究

第 24-1 号

2024 年 9 月

目 次

論 文

「ンゴマ」の翻訳史	
—翻訳を通じたローカルな概念の意味内容の変遷—	木村 香純 1
インドネシアの非銀行部門に対する金融監督の脆弱性	
—国有ジワスラヤ社事件にみる株価操作「サハム・ゴレン」のメカニズム—	小西 鉄 26
ベトナム共和国における仏教諸団体の統合と分裂	
—仏教運動とナショナリズム—	金 知雲 46
ブッシュマンにおける平等主義原則の再考	
—ボツワナ、ハンシイ地区（カデ、ニューカデ、カガエ）における遠隔地 居住者の社会変容の比較分析—	関口慶太郎 78 高田 明

書 評

清水 展、『アエタ 灰のなかの未来—大噴火と創造的復興の写真民族誌』	
京都大学学術出版会, 2024年, 304 p.	木村 周平 111
茅根由佳、『インドネシア政治とイスラーム主義—ひとつの現代史』	
名古屋大学出版会, 2023年, 282 p.	大形 里美 114
貴志 功、『ベトナム居住法—移動の自由の進展と居住登録法制』	
信山社, 2023年, 201 p.	鮎京 正訓 119
服部志帆・小野 環・横谷奈歩編、『アートと人類学の共創—空き家・もの・ こと・記憶』水声社, 2023年, 376 p.	木村 大治 123
千田沙也加、『カンボジア「クルー・チャットン」の時代—ボル・ポト時代後 の初等教育』東信堂, 2023年, vi+260 p.	吉田 篤史 126

フィールドワーク便り

バリにおける伝統的な赤米栽培とデンジソウ	中川 智裕 130
マダガスカル熱帯乾燥林を形作るさまざまな動物たち	大河龍之介 134
与えられ続けることの負債	
—マレーシアのフィールド経験から—	河野奈津美 138
「自分は誰か」を定位する	
—ガーナで感じた人々と関わることの難しさ—	内 凜太郎 142
ファインダー越しに繋がる世界	
—カメラによる出会いの記録からみえるラオス—	好光 百合 146
ネパール「人民戦争」の終結に関する語り	
—K.B.ロカヤ氏の証言より—	荒木 彩陽 150
にぎやかなお通夜	
—残された者への寄り添い方—	佐々木恩愛 154